

地方独立行政法人北海道立総合研究機構依頼試験等実施規程

平成22年4月1日規程第61号

(目的)

第1条 この規程は、地方独立行政法人北海道立総合研究機構(以下「道総研」という。)が依頼を受けて実施する試験、分析、測定等(以下「依頼試験等」という。)に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(事前相談)

第2条 道総研に依頼試験等の実施を依頼しようとする者(以下「依頼者」という。)は、あらかじめ当該依頼試験等を実施する試験研究機関(以下「当該機関」という。)の担当研究職員(以下「担当職員」という。)に、口頭その他の方法により依頼しようとする依頼試験等の内容について相談(以下「事前相談」という。)し、申込みに必要な事項について当該担当職員の確認を受けなければならない。

2 当該機関の長は、原則として前項に定める事前相談を終了し、担当職員の確認を受けた申込み以外は、これを受理しない。

(申込み)

第3条 依頼者は、前条の規定により依頼試験等の実施内容の事前相談が終了した後、依頼試験等申込書(別記第1号様式)又は依頼調査申込書(別記第2号様式)を当該機関の長に提出するものとする。

2 当該機関の長は、前項の規定による依頼試験等の内容を決定するために必要な供試物又は原材料(以下「現品」という。)の提供を依頼者に求めることができる。この場合において、現品の提供に要する経費は依頼者が負担するものとする。

(依頼試験の許可)

第4条 当該機関の長は、第3条の申込書に基づき、依頼試験等の実施内容を決定するものとする。

(依頼試験等の結果)

第5条 当該機関の長は、依頼試験等を終えたときは、当該機関が定める様式の依頼試験等報告書又は試験分析等成績書(以下「報告書等」という。)を依頼者に交付するものとする。

2 依頼者は、報告書等の謄本の交付を受けようとするときは、成績書等謄本交付申込書(別記第3号様式)を当該機関の長に提出しなければならない。ただし、第3条の依頼試験等申込書に併記してこれを請求することができる。

(手数料)

第6条 依頼試験等の手数料については、「地方独立行政法人北海道立総合研究機構諸料金規程(平成22年規程第50号)」による。

2 依頼者は、前項の規定に係る手数料について、定められた期日までに納付しなければならない。

(手数料の不還付)

第7条 既に支払われた手数料は返納しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その全部又は一部を返納することができる。

- (1)道総研の責めに帰する理由により依頼試験等ができなくなったとき。
- (2)当該機関の長がその他特別の理由があると認めたとき。

(依頼物品の返還等)

第8条 依頼試験のために提出された現品は、返還しない。ただし、特別の理由がある場合は、この限りではない。

- 2 現品の返還に必要な費用は、依頼者が負担しなければならない。
- 3 道総研は、現品の滅失又は損傷に対しては、賠償の責任を負わない。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。